

## ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会

会 長 高 島 惇 彦

7月を迎え、北海道にも盛夏の訪れを見るようになりました。会員の皆様にはご健勝にて、一学期のまとめ、そしていよいよ開幕の全国高等学校総合体育大会に向けて多忙な日々をお過ごしのことと思います。

さて、去る6月13日、本年度の第1回高教研役員会で規約第9条に基づく役員改選が行われはからずも当研究会の会長の大役を仰せ付けられました。その責任の重さを痛感している次第であります。

会員数約6千人を擁し、年を追って充実発展の途にある当高教研は、申すまでもなく歴代会長をはじめ各役員や事務局員のご尽力、そして、会員各位のご熱意によって全国的に高く評価されているところです。発会以来25年目を数えます。その伝統と実績をより高めるために努力する所存ですので、会員ならびに関係各位の格別のご支援を切にお願い申し上げます。

ところで、第1回役員会で事業計画、予算等も承認され、昭和62年度の活動がはじまりました。詳細につきましては当号の記載どおりですが、25回目を迎える研究大会は、明年1月7日(木)、8日(金)札幌厚生年金会館で開催することになっております。この日にむけて、会員一人一人が自分の研究会として主体的に参加しながらも互いの絆を強め、実りの多い研究会になることを願っております。

当研究会は、会員数そして大会参加者数については数的に一応の定着をみました。このうえは、さらに質的な定着が望まれるわけです。

臨時教育審議会の答申をはじめとして、21世紀に向けての教育論議が盛んですが、いずれも、国際化、情報化、高齢化等のいっそうの進展を予測したうえでの教育改革を目指すものです。しかし、いかに教育制度や方法が改められたとしても、教育の場でそれを実践に移すのは教師です。

坐して待つことなく社会の変化と未来への眺望を確かに見据えて研究をすすめ、改革への果敢な挑戦が私達の責務であると思います。

末筆ながら、会員各位のご健康に併せ、今後のご研鑽を重ねて念じごあいさつといたします。

本研究会が昭和38年5月に発足してから25年の歳月が経過いたしました。この4分の1世紀にあたる期間に、我が国の教育をめぐる状況は大きな変貌を遂げ、とくに昨今は教育のあるべき姿を求めての議論や実践が目立った形で行われるようになりました。そのとき高校教育における発想の転換がつよくのぞまれてきたことは言うまでもありません。

この間にあって本研究会は、高校教育と学習指導の現代化を目指して、質・量ともに充実した研究会に成長してまいりました。これもひとえに、これまでの役員の方々や会員の皆様の研究への意欲と本会へのご協力、ご指導によるところが大きいものと考えます。昭和62年度の事業が始まろうとする時にあたり、事務局としましては、日頃の皆様のご支援に敬意と感謝の念を表明するとともに、本会の事業の円滑な推進のためになお一層努力してまいりたいと存じます。

さて、過日の第1回役員会で本年度の事業計画が審議され、その大要がまとまっております。昨年度あらたに養護部会が新設されましたが、これを含め13の教科部会で活発な活動が推進されることとなります。道内の15の支部においても、それぞれ関係者のご努力により充実した方向に進んでいると伺っております。さらに、研究大会へのご参加、また研究紀要、研究調査へのご協力など、よろしく願いいたします。

なお、昨年度は会費の値上げをお願いし、皆様のご理解を得て本研究会の財源安定と内容の一層の充実を図ってきたところであります。本年がその第2年目の年となりますが、会員の皆様のご協力をあらためてお願い申し上げます。

次に、第1回役員会でできまりました昭和62年度の事業等につきまして、お知らせいたします。

### 〔昭和62年度第1回役員会〕

(日時) 昭和62年6月13日(土) 午後2時30分

(場所) 「すみれホテル」

(札幌市中央区北1条西2丁目 ☎261-5151)

1. 経過報告 (61. 4. 10~62. 6. 13)  
〈昭和61年〉
4. 10 昭和60年度事業実施報告書提出
5. 7 昭和61年度会員登録依頼  
地区支部長・教科部会長補充依頼
- 20 昭和61年度事業計画書提出
6. 9 本部事務局会議(第1回役員会議案書審議)
- 14 第1回役員会(すみれホテル)

- 23 会員登録締切、部会テーマ、会場決定
7. 5 会員名簿整理・集計
- 10 会報45号発行
8. 20 第2回役員会・教科部会事務担当者会議  
案内
9. 4 本部事務局会議
- 6 第2回役員会・教科部会事務担当者会議  
(すみれホテル)
10. 13 講師派遣依頼状・委嘱状発送  
大会要項原稿締切
- 15 「第24回研究大会要項」編集開始  
参加申込書・参加証印刷発注
11. 4 運営会議案内状発送  
後援依頼状(道教委・市教委・校長協会)  
発送  
道教委公報掲載依頼状・後援名義使用承認願発送  
文部省講師派遣依頼状発送
- 10 「大会要項」・「参加申込書」発送
- 25 大会参加申込受付、研究紀要原稿締切  
研究紀要第24号編集開始  
本部事務局会議(運営会議議案書審議)
- 29 第24回研究大会運営会議(すみれホテル)
12. 5 研究大会資料編集開始  
研究大会各種資料作成、研究大会祝辞依頼状発送、研究大会役員委嘱状・同派遣依頼状発送、研究大会助言者委嘱状・同派遣依頼状発送(道教委・市教委・道研・理科センター)、来賓・報道関係者案内状発送
- 10 研究大会資料編集完了、印刷発送
- 11 大会運営最終点検(厚生年金会館と打ち合せ)
- 15 第24回研究大会参加申込締切
- 19 本部事務局会議  
参加者集計、参加者名簿整理、同名簿印刷発注、大会資料校正
- 27 大会資料発送(全体集会・教科部会の各講師)

### 〈昭和62年〉

1. 6 本部事務局会議(諸準備・会場との打ち合せ)
- 7 本部事務局会議(総点検)  
講師・司会者・事務局打ち合せ(厚生年金会館)
- 8 第24回北海道高等学校教育研究大会全体集会
- 9 同教科別集会
- 13 各方面に礼状発送

- 22 第3回役員会案内状発送
2. 12 本部事務局会議 (第3回役員会議案書審議)
- 14 第3回役員会 (すみれホテル)
4. 10 昭和61年度事業実施報告書提出
5. 7 昭和62年度会員登録依頼  
地区支部長・教科部会長改選依頼
- 20 昭和62年度事業計画書提出
6. 8 本部事務局会議 (第1回役員会議案書審議)
- 13 第1回役員会 (すみれホテル)
2. 昭和61年度事業実施報告
- (イ) 「会報」第45号発行 (7月10日)
- (ロ) 第24回北海道高等学校教育研究大会  
第1日目 全体集会 (62. 1. 8)  
北海道厚生年金会館
- 第2日目 教科別集会 (62・1・9)  
札幌市民会館他
- (ハ) 「研究紀要」第24号発行  
〈規格〉 タイプオフセット B5版  
216ページ
- 〈発刊日〉 昭和62年3月10日
- 〈掲載論文〉 18編 (研究調査を含む)
- 国語2 社会3 数学1 理科3  
養護1 芸術1 英語1 家庭1  
工業1 商業1 水産1 教職一般1
- (ニ) 「研究調査」1編
- (ホ) 「会報」第46号発行 (62年3月10日)  
(内容—第24回研究大会成果報告)
3. 昭和61年度収支決算報告
4. 昭和61年度会計監査報告
5. 昭和62年度事業計画
- (イ) 第25回 北海道高等学校教育研究大会

### A 全体集会

- ・期 日—昭和63年1月7日(木)
- ・会 場—北海道厚生年金会館大ホール
- ・日 程

9:00	10:00	10:30	12:30	13:30	15:30
受付	開会式	講演 (午前の部)	昼食 (休憩)	講演 (午後の部)	

- ・運営—本部担当
- ・講演〈講師〉午前の部 (未定)  
午後の部 (未定)
- ・司会者—午前の部 (桧山支部・後志支部)  
午後の部 (南空知支部・北空知支部)

### B 教科別集会

- ・期 日—昭和63年1月8日(金)
- ・会 場

国語部会	(北海道経済センター)
社会部会	(未定)
数学部会	(第二白石区民センター)
理科部会	(札幌開成高校)
保体部会	(札幌旭丘高校)
養護部会	(大同生命ビル)
芸術部会	(札幌市民会館)
英語部会	(北海道大学教養部)
家庭部会	(札幌市民会館)
農業部会	(札幌市民会館)
工業部会	(北海道工業高校)
商業部会	(札幌啓北商業高校)
水産部会	(小樽水産高校)

- ・日 程

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演又は 研究討議	昼食 (休憩)	講演又は 研究討議	部会総会

- ・運 営—各教科部会事務担当者

### C 研究テーマ

- ・全 体

#### 「高等学校教育と学習指導の現代化を推進する」

- ・部 会

国語	「国語教育の活性化をめざして」 —多様化している生徒一人一人を 生かす指導法の探求—
社会	「社会科教育における今日的課題と、 その指導方法について」
数学	「学習意欲を高めるための数学の指 導・実践について」
理科	「これからの理科教育はどうあるべき か」
保体	「保健体育指導上の諸問題」
養護	「養護教諭の専門性と教育活動」
芸術	「これからの芸術教育」
英語	「生徒が意欲的に取り組む英語の授業 の工夫・改善を求めて」

家庭	「これからの家庭科教育を考える」 —男女が学ぶ家庭科の実施に向けて—
農業	「時代の進展に対応する農業教育はいかにあるべきか」
工業	「時代に即応する工業教育のあり方」
商業	「今後における商業教育のあり方について」
水産	「新しい時代に対応する水産教育はどう進めるべきか」

#### D 講師

##### ・全体集会

原則として中央からは1名、道内から1名の2名依頼。その内訳としては、人文科学部門1名、自然科学部門1名とする。

なお、希望講師（および希望演題）があれば地区支部、教科部会経由か直接本部事務局へ申し出られたい。

##### ・教科別集会

各教科別部会で決定されたい（なお、委嘱状・依頼状は本部事務局で）。

#### E 大会参加料

（次の参加料を徴収する）

会員——1,700円

非会員——3,000円

※受付方法・参加証の配付方法については、第2回役員会（9月5日）の議案書に掲載いたします。

##### (ロ) 研究紀要第25号発行

規格——B5版約200ページ

発刊日——昭和63年3月10日

原稿締切日——昭和62年11月25日(水)

〈締切日厳守〉

（原稿内訳）

- ▶教科は、1教科につき400字詰原稿用紙（本部規定）70枚以内、原稿の集約・審査等は各教科で行って下さい。
- ▶教職一般は、1編につき400字詰原稿用紙（本部規定）30枚以内、原稿の集約・審査等は地区支部長で行って下さい。
- ▶特定校に集中しないようご配慮下さい。
- ▶紀要抜刷50部は執筆者にお渡しします。なお、50部以上希望の方は、各個人で印刷業者と直接連絡をとってお申し込み下さい。
- ▶紀要論文募集要項は、会報第47号（7月10日発

行）に掲載し全会員にお知らせします。

▶研究紀要の発表者が決まり次第、本部事務局（編集部長沢田正巳あて）にお知らせ下さい。本部事務局より地区支部および教科部会を通じて、原稿用紙をお送りいたします。

▶原稿は必ず支部、部会を経由し、本部へ直送されることのないようお願いします。

〈原稿の書き方についてのお願い〉

▶原稿用紙1枚目の1行目には「題目」を、2行目には「勤務先・執筆者氏名」を記入して下さい。たて書きの原稿の場合もこれに準じます。

▶文中にゴジックを要するところは——（朱記）イタリックを要する場合は~~~~（朱記）のように線を引いて下さい。

▶図は、白紙に、墨または黒インクで鮮明に書き、直接トッ版がとれるようにして下さい。

▶原稿は原則として、お返しいたしません。

▶図、写真の入るところは原稿にはっきり指定して下さい。

▶なお、図・写真は別紙とし、余白の番号と氏名を明記して下さい。写真が多くなる時は、予算の関係上、本部事務局編集担当（沢田）にご連絡下さい。

(イ) 会報第47号発行（7月10日）

〈内容〉

- ・第25回研究大会全体研究テーマ
- ・第25回教科別部会テーマ
- ・研究紀要第25号応募要領
- ・研究調査（研究紀要掲載）応募要領
- ・役員名簿一覧（地区支部長・教科部会長・各事務担当者）
- ・事務局一覧（本部事務局・地区支部・教科部会）
- ・本部事務局の機構・組織、担当、業務一覧
- ・昭和62年度事業計画

(ニ) 会報第48号発行（昭和63年3月10日予定）

〈内容〉

- ・第25回研究大会成果報告
- ・地区支部・教科部会活動状況

(ホ) 研究調査（昭和62年度の申込受付について）

〈申込方法〉

▶本年度採用予定は3～4編で、申込みは、教科関係については、各教科部会、教職関係については各地区支部で取りまとめ、それぞれの部会長、支部長を経由して本部事務局へ9月5日(出)までに連絡してください（連絡先：編集部長

沢田正巳)。

〈調査の費用、期間〉

- ▶費用は、1年で完結するものには40,000円、2年継続のものには各年度20,000円の調査費が配当されます。期間は、1年で完結、2年継続の2種です。

〈研究紀要発表他〉

- ▶研究調査の報告は、研究紀要に掲載しますので、内容を400字詰原稿用紙(本部規定)20枚程度に要約し教科部会長または地区支部長を経て、11月25日(水)までに本部事務局(沢田あて)に提出してください。

- ▶応募要領は、会報第47号で全会員にお知らせします。

6. 昭和62年度予算案

7. 昭和62年度会員登録および名簿作成について

(イ) 各学校から名簿が2部、地区支部事務局校に送付されているはずです。うち1部は地区支部事務局校で保管、残り1部と登録料を本部事務局に送付してください。

(ロ) 地区支部事務局校では、地区支部内の教科ごとの名簿を2部作成し本部事務局あてお送りください(本部で分類し、1部は教科部会に、1部は本部事務局保管)。

※したがって、地区支部事務局校より、本部事務局あて送付願う書類その他については、次のとおりになります。

- ① 学校ごとの会員名簿 1部
- ② 教科部会ごとの名簿 2部
- ③ 地区支部会員集計表 1部
- ④ 登録料(会費)

〈振込先〉北海道銀行旭ヶ丘支店

口座番号(普)0004544

口座名義人 北海道高等学校教育  
研究会

高 島 惇 彦

または 郵便振替

小 樽 7-2737

◎なお、追加登録の場合は上記1、2と同様にして、本部事務局にお知らせください。

8. 昭和62年度行事予定

(別紙参照)

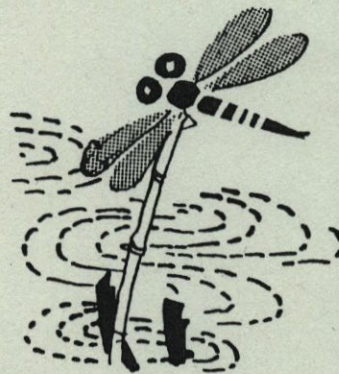
9. 昭和62年度役員改選

(別紙参照)

10. 昭和62年度地区支部、教科部会、本部事務局の構成

(別紙参照)

11. その他



〈昭和61年度〉 会 員 加 入 状 況

教 科 支 部	国 語	社 会	数 学	理 科	保 体	養 護	芸 術	英 語	家 庭	農 業	工 業	商 業	水 産	合 計
石 狩	254	268	256	278	193	25	105	300	57	10	62	69	0	1,877
渡 島	51	54	48	52	36	6	6	44	8	7	11	20	37	380
桧 山	14	22	13	13	14	5	3	15	4	5	5	10	0	123
後 志	21	37	24	33	24	5	6	21	14	24	13	30	30	282
南空知	27	42	33	49	24	4	12	23	16	23	13	24	0	290
北空知	45	31	28	33	25	8	12	27	10	20	24	58	0	321
上 川	62	76	64	70	71	6	26	73	18	39	44	54	0	603
留 萌	17	16	16	14	16	3	7	20	5	9	5	9	2	139
宗 谷	16	12	12	14	12	4	3	18	4	8	1	11	0	115
網 走	58	51	53	50	46	9	16	41	17	14	12	30	0	397
根 室	15	20	11	12	10	1	8	15	6	11	0	11	0	120
釧 路	30	43	29	39	42	2	13	48	3	11	10	8	17	295
十 勝	50	58	45	42	41	6	19	42	11	31	7	22	0	374
胆 振	48	59	45	56	34	1	15	58	16	7	46	24	0	409
日 高	15	23	11	19	15	0	4	18	5	9	5	10	0	134
合 計	723	812	688	774	603	85	255	763	194	228	258	390	86	5,859

〔備 考〕

年 度	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
中 間	6,123	6,221	6,159	6,374	6,410	6,293	6,232	6,220	6,235	6,226	5,804
年 度 末	6,201	6,272	6,549	6,411	6,450	6,317	6,255	6,246	6,245	6,231	5,859

## 〈昭和62年度〉 年間行事予定表

北海道高等学校教育研究会

月	日	曜	本 部	備 考	地 区 支 部	教 科 部 会
4	10	金	昭和61年度事業実施報告書提出			
5	7	木	昭和62年度会員加入登録依頼 地区支部長・教科部会長役員改選依頼			
	20	水	昭和62年度事業実施計画書提出			
6	8	月	本部事務局会議	第1回役員会議案書審議		
	13	土	第1回役員会 (すみれホテル14:30)		第1回役員会	第1回役員会
	20	土	会員登録締切 ※部会テーマ・会場		会員登録締切	テーマ・会場決定
	30	火			役員名簿提出締切	役員名簿締切提出
7	4	土	会員名簿の整理と集計		会員名簿提出締切	
	10	金	会報47号発行	内容：全体・部会研究テーマ，研究紀要 研究調査・役員名簿・事務局一覧		
9	3	木	本部事務局会議	第2回役員会・教科部会事務担当者会議 議案書審議		
	5	土	第2回役員会 (すみれホテル14:30)	内容：事業計画・実行予算・会員加入 全体集会・教科別集会 (第25回 研究大会運営・日程・会場他)	第2回役員会 事業計画書提出	第2回役員会・事務担当者 会議 事業計画書提出
11	25	水	第25回研究大会参加申込受付		研究紀要論文原稿締切	研究紀要論文原稿締切
	25	水	本部事務局会議	第25回研究大会運営会議議案書審議		
	28	土	第25回研究大会運営会議 (すみれホテル14:30)		第25回研究大会運営会議 (事務担当者のみ出席)	第25回研究大会運営会議 (事務担当者のみ出席) 部会 (係・役員) 依頼状・ 委嘱状発送
12	12	土	第25回研究大会参加申込締切			
1	7	木	第25回研究大会全体集会 (北海道厚生年金会館)		第25回研究大会	第25回研究大会
	8	金	第25回研究大会教科別集会 (札幌市民会館他)			第25回研究大会教科別集会
	9	土	関係方面に研究大会礼状発送			
2	10	水	本部事務局会議	第3回役員会議案書審議		
	13	土	第3回役員会 (すみれホテル14:30)		第3回役員会	第3回役員会
3	10	木	研究紀要第25号・会報第48号発行	内容：第25回研究大会報告		

[昭和62年度高教研 {地区支部  
教科部会} 事務局所在地・事務担当者一覧]

<地区支部>

支部名	事務局校	支部長名	事務局担当者名	郵便番号	事務局校住所	電話番号
石狩	札幌東豊	川崎 威	鴨野昌次	065	札幌市東区東雁来町376-1	(011) 791-4171
渡島	函館稜北	石黒正勝	田村正郎	041	函館市石川町181番地8	(0138) 46-6235
桧山	熊石	住山 明	中島和彦	043-04	爾志郡熊石町字鮎川103-番地4	(01398) 2-3382
後志	喜茂別	松田光次	實吉正司	044-02	虻田郡喜茂別町字喜茂別258-1	(0136) 33-3433
南空知	美唄南	丸山 恵敬	奥平松一	072	美唄市西1条南8丁目	(01266) 4-2277
北空知	砂川北	尾崎俊一	森利三	073-01	砂川市焼山95番地	(01255) 2-4161
上川	旭川工業	小泉善治郎	袖原秀明	078	旭川市西神楽3線5号	(0166) 65-4115
留萌	苫前商業	松田靖夫	森脇俊明	078-36	苫前郡苫前町字古丹別723	(01646) 5-3441
宗谷	豊富	伊藤詰夫	松本光	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ475	(0162) 82-1709
網走	北見柏陽	原田由正	畠山康正	090	北見市柏陽町567番地	(0157) 24-5107
根室	羅白	村上義夫	土野茂樹	086-18	目梨郡羅白町礼文町9番地3	(01538) 7-2481
釧路	釧路東	大澤昭夫	山崎 徹	088-06	釧路郡釧路町富原3番地1	(0154) 36-2852
十勝	芽室	倉林雄幸	堀澤道一	082	河東郡芽室町東芽室南2線33番地	(0155) 62-2624
胆振	室蘭東	青地 巧	伊藤栄太郎	050	室蘭市高砂町4丁目35-1	(0143) 44-4783
日高	様似	磯部誠一	吉口新一	058	様似郡様似町大通1丁目25番地	(01463) 6-2407

<教科部会>

教科名	事務局校	部会長名	事務局担当者名	郵便番号	事務局校住所	電話番号
国語	大麻	上田三三生	若林 正	069	江別市大麻147番地	(011) 387-1661
社会	札幌西	柳沢二郎	新明正寿	006	札幌市西区手稲山口740番	(011) 694-6287
数学	札幌厚別	小原孝男	市毛 明	004	札幌市白石区厚別町山本750番15	(011) 892-7661
理科	札幌西陵	○中島英二 (有朋)	石山直人	063	札幌市西区手稲平和59-2	(011) 663-7121
保体	恵庭南	○林 司 (札幌啓成)	久保公男	061-14	恵庭市白樺町48番地	(0123) 32-2391
養護	札幌南	○阿部重雄 (札幌手稲)	浅黄谷登志	064	札幌市中央区南18条西6丁目	(011) 521-2311
芸術	札幌開成	○浪花正雄 (芦別)	滝沢光郎	065	札幌市東区北22条東21丁目1-1	(011) 781-8171
英語	札幌東	河西久男	宮地良一	003	札幌市白石区菊水9条3丁目	(011) 811-1919
家庭	札幌開成	鈴木昭平	甕 郁子	065	札幌市東区北22条東21丁目1-1	(011) 781-8171
農業	俱知安農	石田義雄	小原静雄	044	虻田郡俱知安町字旭15番地	(0136) 22-1148
工業	札幌琴工	品川三雄	武部良平	063	札幌市西区発寒13条11丁目	(011) 661-3251
商業	札幌北商	吉田弘一	肥田 進	005	札幌市南区石山1条2丁目15-1	(011) 591-2021
水産	小樽水産	間山郁三	小林照則	047	小樽市若竹町9-1	(0134) 23-0670
<備考>						
	○印の教科部会長校住所	理科…中島英二(有朋)		064	札幌市中央区南14条西12丁目	(011) 563-1105
		保体…林 司(札幌啓成)		003	札幌市白石区厚別町東4条8丁目6番1号	(011) 898-2311
		養護…阿部重雄(札幌手稲)		006	札幌市西区手稲前田497番2	(011) 683-3311
		芸術…浪花正雄(芦別)		075	芦別市本町40番地13	(01242) 2-2164



〈昭和62年度〉 北海道高等学校教育研究会

本部役員名簿

(会長) 高 畠 惇 彦 (札幌旭丘)  
 (副会長) 品 川 三 雄 (札幌琴工)  
 ( 〃 ) 松 本 輝 雄 (札幌真栄)  
 ( 〃 ) 宮 森 公 夫 (札幌清田)  
 (監事) 村 上 元 治 (札幌新川) 藤 田 昌 一 (札幌東商)  
 (顧問) 梶 浦 善 次 (道女短) 磯 貝 芳 司 (道女短)  
 尾 崎 信 夫 (道育成協) 小 柳 六 郎

地区支部長

(石狩) 川 崎 威 (札幌東豊)  
 (渡島) 石 黒 正 勝 (函館北)  
 (桧山) 住 山 明 (熊石)  
 (後志) 松 田 光 次 (喜茂別)  
 (南空知) 丸 山 恵 敬 (美唄南)  
 (北空知) 尾 崎 俊 一 (砂川北)  
 (上川) 小 泉 善治郎 (旭工)  
 (留萌) 松 田 靖 夫 (苫前商)  
 (宗谷) 伊 藤 詰 男 (豊富)  
 (網走) 原 田 由 正 (北柏陽)  
 (根室) 村 上 義 夫 (羅白)  
 (釧路) 大 澤 昭 夫 (釧東)  
 (十勝) 倉 林 雄 幸 (芽室)  
 (胆振) 青 地 巧 (室東)  
 (日高) 磯 部 誠 一 (様似)

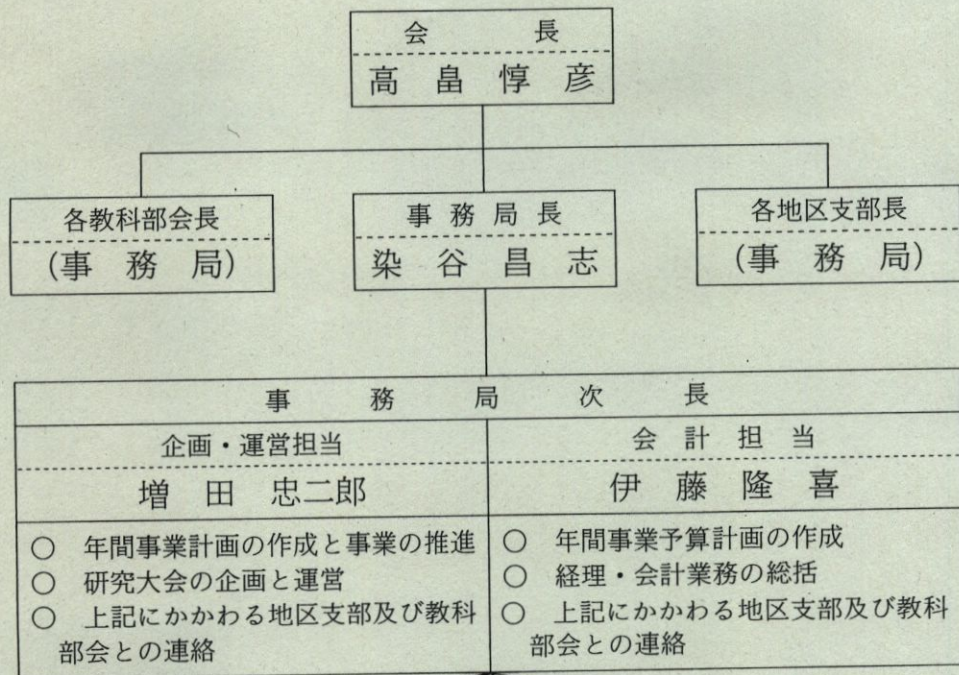
教科部会長

(国語) 上 田 三三生 (大 麻)  
 (社会) 柳 沢 二 郎 (稲 西)  
 (数学) 小 原 孝 男 (厚 別)  
 (理科) 中 島 英 二 (有 朋)  
 (保体) 林 司 (札幌啓成)  
 (養護) 阿 部 重 雄 (手 稲)  
 (芸術) 浪 花 正 雄 (芦 別)  
 (英語) 河 西 久 男 (札幌東)  
 (家庭) 鈴 木 昭 平 (札幌開成)  
 (農業) 石 田 義 雄 (倶知農)  
 (工業) 品 川 三 雄 (札幌琴工)  
 (商業) 吉 田 弘 一 (札幌啓商)  
 (水産) 間 山 郁 三 (樽 水)

本部事務局

染 谷 昌 志 (事務局長) 沢 田 正 巳 (編集部長)  
 増 田 忠 二 郎 (事務局次長) 松 田 五 郎 (運営一部長)  
 伊 藤 隆 喜 (事務局次長) 高 橋 勝 昭 (運営二部長)  
 柴 田 雅 美 (総務部長) 鎌 田 圈 治 (会計部長)  
 鈴 木 徹 (庶務部長)

〈昭和62年度〉 — 北海道高等学校教育研究会 — 〈本部事務局組織〉



区分	総務部	庶務部	編集部	運営一部(全体集会)			運営二部(全体集会)		会計部
業 務	○ 諸会議の準備・運営 ○ 会員登録名簿の作成・整理 ○ 会員数の集計	○ 諸文書の作成・発送 ○ 諸文書・記録等の整理・保管 ○ 研究大会要項資料の作成	○ 研究紀要の受付・整理 ○ 研究調査の受付・整理 ○ 会報・紀要等の編集・整理	○ 全体集会運営にかかわる下記の業務 1 受付・案内 2 講演記録			○ 全体集会運営にかかわる下記の業務 1 会場設営, 掲示 2 放送, 接待, 救護		○ 各事業予算書の作成 ○ 金銭出納 ○ 物品の購入・借入
部長	柴田 雅美	鈴木 徹	沢田 正巳	松田 五郎			高橋 勝昭		鎌田 圀治
副部長	佐藤 公征	黒宮 輝夫	相澤 寿一	島 隆			尾崎 正則		高木百合子
担 当	石井 直樹 奥山 直毅	小川 清廣 武田 圭司	近藤 正博 喜多 清彦 荒木 修	関谷 清邦 岩田 享子 上西 劭 宮内 幸雄 鈴木 健吉 南雲 信二 小池 勲	石黒 清裕 奥山 忠 平山 斌一 矢野 仁 松尾 英樹 森田 太郎 阿部益太郎	池田 實 近藤 暢男 西田 裕 成沢 正義 石沢健太郎 中野 繁男 芳賀 秀樹	中垣 正史 須藤喜久男 菊池 義子 松本 英夫 松浦 文生 佐藤 昌弘	武田 恵 野上 光子 斉藤 幸子 (事務職員) (業務職員)	
事務局員	高木 百合子			徳田 裕	須貝 則昭	久保田法順			

### 〈編集後記〉

- ▷ 「会報」第47号をお届けいたします。この号には、皆様ご存知のように「研究紀要」「研究調査」の募集要項が詳細に掲載されております。日頃研究心に燃えて努力を重ねておられる会員の皆様方、奮ってその成果をご発表下さい。
- ▷ 特に「研究調査」の方は、前年度希望者多く編集部一同大変喜んで居りましたが、最終的には研究者のご都合などから1年完結1編、2年継続が1編という有様でした。「研究調査」の活発化が叫ばれている今日、是非とも今年度こそは数多くの申込みを願ってやみません。
- ▷ 尚、「研究調査」をされる方には40,000円の調査費を、「研究紀要」に論文を掲載された方には抜刷50部を、原稿料として差し上げて居りますことを付記させていただきます。
- ▷ 所で、本部事務局では立派な新会長をお迎えし、新会長のもと円滑な運営をはかるため組織の1部手直しを行いました。庶務・編集・会計は従来通りですが、総務部を新設、運営1部・2部は名称はそのままで部内の拡充につとめ、大会運営のより一層の充実をはかりました。
- ▷ さて、例年のことですが、編集部一同会員の皆様方の立派な原稿をお待ちいたして居ります。どしどしご応募下さい。

(編集部一沢田)